

Title	ダイナミック・ケイパビリティ・ベースの戦略経営論研究
Sub Title	Study on dynamic capabilities based strategic management
Author	菊澤, 研宗(Kikuzawa, Kenshu)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2020
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>経営学における近年の話題の一つは、世界最新の理論であるダイナミック・ケイパビリティ論である。しかし、その内容はいまだ不明確で、日本ではよく理解されていない。そこで、ダイナミック・ケイパビリティ・ベースの戦経論の内容を解明するために、関係資料を翻訳し、その結果を出版物として公表し、さらにその結果を研究会や講演などで、口頭発表した。より具体的には、以下のことを行った。</p> <ol style="list-style-type: none">1 . ダイナミック・ケイパビリティの創始者であるデイビット・ティース教授の主要な論文を選択し、論文集としてそれを翻訳し、本として出版した。2 . ダイナミック・ケイパビリティ論に関する本を出版した。特に、この本では、ダイナミック・ケイパビリティ論とは何かを明らかにするとともに、これを日本の企業に応用し分析した。3 . ダイナミック・ケイパビリティに関する研究成果を、学会や講演などで口頭発表した。特に、ダイナミック・ケイパビリティとは何かを説明し、日本企業を復活させるためには、現在の日本企業にはダイナミック・ケイパビリティが必要であることを説明した。 <p>One of the recent topics in business administration is dynamic capabilities-based theory, which researches in the world pay a lot of attention to. However, many researchers in Japan do not well understand the dynamic capabilities-based theory, and think that the strategic management is still unclear. Therefore, in order to clarify the content of the dynamic capabilities-based strategic management, I translated the important papers into Japanese, and then published as the translated book. Also I published a book and papers on dynamic capabilities-based strategic management, and gave power point presentation on dynamic capabilities at workshops and lectures.</p> <p>More specifically, I performed the following.</p> <ol style="list-style-type: none">1. I selected key papers by Professor David Teece, who is the founder of Dynamic Capabilities, then translated them into Japanese, and published them as a book.2. I Published a book on dynamic capabilities-based theory. In particular, this book clarified what dynamic capabilities -based theory was, and applied it to Japanese companies for analysis.3. I gave power point presentation with research results on dynamic capabilities at a variety of conferences and lectures. In particular, I explained what dynamic capabilities was and explained that current Japanese companies needed dynamic capabilities in order to revive Japanese companies.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190124

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	商学部	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	菊澤 研宗	氏名 (英語)	Kikuzawa, Kenshu		
研究課題 (日本語)						
ダイナミック・ケイパビリティ・ベースの戦略経営論研究						
研究課題 (英訳)						
Study on Dynamic Capabilities based Strategic Management						
1. 研究成果実績の概要						
<p>経営学における近年の話題の一つは、世界最新の理論であるダイナミック・ケイパビリティ論である。しかし、その内容はいまだ不明確で、日本ではよく理解されていない。そこで、ダイナミック・ケイパビリティ・ベースの戦略経営論の内容を解明するために、関係資料を翻訳し、その結果を出版物として公表し、さらにその結果を研究会や講演などで、口頭発表した。より具体的には、以下のことを行った。</p> <p>1. ダイナミック・ケイパビリティの創始者であるデイビット・ティース教授の主要な論文を選択し、論文集としてそれを翻訳し、本として出版した。</p> <p>2. ダイナミック・ケイパビリティ論に関する本を出版した。特に、この本では、ダイナミック・ケイパビリティ論とは何かを明らかにするとともに、これを日本の企業に応用し分析した。</p> <p>3. ダイナミック・ケイパビリティに関する研究成果を、学会や講演などで口頭発表した。特に、ダイナミック・ケイパビリティとは何かを説明し、日本企業を復活させるためには、現在の日本企業にはダイナミック・ケイパビリティが必要であることを説明した。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>One of the recent topics in business administration is dynamic capabilities-based theory, which researches in the world pay a lot of attention to. However, many researchers in Japan do not well understand the dynamic capabilities-based theory, and think that the strategic management is still unclear. Therefore, in order to clarify the content of the dynamic capabilities-based strategic management, I translated the important papers into Japanese, and then published as the translated book. Also I published a book and papers on dynamic capabilities-based strategic management, and gave power point presentation on dynamic capabilities at workshops and lectures.</p> <p>More specifically, I performed the following.</p> <p>1. I selected key papers by Professor David Teece, who is the founder of Dynamic Capabilities, then translated them into Japanese, and published them as a book.</p> <p>2. I Published a book on dynamic capabilities-based theory. In particular, this book clarified what dynamic capabilities -based theory was, and applied it to Japanese companies for analysis.</p> <p>3. I gave power point presentation with research results on dynamic capabilities at a variety of conferences and lectures. In particular, I explained what dynamic capabilities was and explained that current Japanese companies needed dynamic capabilities in order to revive Japanese companies.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
菊澤研宗	成功した日本企業には共通の本質がある—ダイナミック・ケイパビリティの経営学	朝日新聞出版	2019年3月			
菊澤研宗その他	デービット・ティースのダイナミック・ケイパビリティの企業理論	中央経済社	2019年10月			
菊澤研宗	反株主主権論—シュンペーター、ドラッカー、そしてティース	経営哲学学会『経営哲学』第16巻2号30-41	2019年10月			
菊澤研宗	日本軍に学ぶ「組織の不条理」とその回避—黒い空気の問題—	『戦略研究25』（戦略研究学会(編) 芙蓉書房) 25、3-20	2019年10月			
菊澤研宗	特別講演 日本軍に学ぶ組織の不条理—黒い空気の問題—	戦略研究学会 第17回全国大会(明治大学)	2019年04月			
菊澤研宗	失敗に学ぶ組織の不条理—なぜ企業は旧日本軍の轍を踏み続けるのか—	社団法人香川県経営者協会・香川県商工会議所連合会	2019年05月			
菊澤研宗	リーダーの不条理とその回避—日本軍の失敗に学ぶ—	大阪慶友会(大阪ドーンセンター)	2019年06月			
菊澤研宗	リーダーの条件—テーマとケース—	日本生産性本部(品川ホテル)	2019年07月			

菊澤研宗	リーダーの『不条理』とその回避、美意識を鍛える～経済合理主義vs人間主義～	山城経営研究所, 経営道フォーラム (ホテル椿山荘東京)	2019年07月
菊澤研宗	失敗の本質 組織の不条理—不条理を回避するリーダーの条件—	日本生産性本部, 「トップ・エグゼクティブ朝食会」(東京パレスホテル)	2019年09月
菊澤研宗	合理的な選択の結果、なぜ組織は間違えるのか? 日本的リーダーの『失敗の本質』と『成功の本質』とは	財団法人労務行政研究所, HR イブニングセッション (労務行政研究所)	2019年09月
菊澤研宗	日本企業に眠る自己変革能力(ダイナミック・ケイパビリティ)を目覚めさせる—不条理の回避方法	全日本能率連盟, 2019年度「全日本能率連盟 研究交流会」(アルカディア市ヶ谷)	2019年09月
菊澤研宗	組織の不条理とその回避—ダイナミック・ケイパビリティ—	日本軽金属株式会社 研修講演	2019年10月
菊澤研宗	成功する日本企業には「共通の本質」がある	東レ経営研究所 第32回 特別講演会(経団連会館)	2019年11月
菊澤研宗	日本軍に学ぶ組織の不条理—黒い空気支配を回避するには—ダイナミック・ケイパビリティ論	日本能率協会 JMAトップマネジメント研修プログラム(日本能率協会ビル) 講演	2020年1月
菊澤研宗	リーダーの『不条理』とその回避、美意識を鍛える—経済合理主義vs人間主義—	山城研究所 経営道フォーラム 講演 (ホテル椿山荘東京)	2020年1月